

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】 12 救急救命が必要になった市民の生命をつなぐ
 【施策】 1 救急救命の環境をつくる
【基本事務事業】 1202 救急救命ネットワークを拡大する

【節】 安全で快適な生活環境の実現
 【項】 安全で安心な地域環境づくり
 【基本計画区分】 404 【担当課】 6002500 消防救急課

【方針(目的)】
 市民によるいち早い応急手当が救命に大きな効果があることから、市民に対する救急指導及びAED(自動体外式除細動器)普及啓発活動を通して、救命率の向上を図る。

【外部環境の変化】
 救急車到着前の救命処置の必要性が高まっている

【取組み課題(現状と課題)】
 救急車到着前の救命処置を的確に実施するため、バイスタンダーの育成及び民間事業所へのAED設置促進を図ります

コード 配下事務事業名
 120201 応急救護普及事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]
救急救命ステーション数の拡大 (件)	61	67	74
()	0	0	0

【内部要因(強み・弱み)】
 AEDの設置事業所等が増えている

【目指す成果(今後の方針)】
 心肺機能の停止に対し、その場に居合わせた人が早期に救命処置を行うことができるようになります。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 120201 応急救護普及事業		担当課: 6002500 消防救急課										
【目的】		会計区分 一般会計					計画区分 計画事業					
市民による応急手当で救急隊が到着するまでの時間をカバーする。		【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
		応急手当実施数を増やす (%)	過去3年の処置件数の最高数×5パーセント	104	130	132	134	計画額 (一般財源) (単位:千円)	1,508	1,333	1,333	1,333
		()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	3.06	3.06	3.06	3.06
【対象】 市内居住者・在勤者・中学生以上の在学者		()		0	0	0	0	【関連する業務名称】 普通救命講習修了者を増加させる 応急手当指導員を研修及び指導する 救急救命ステーションの促進を図る				
		【事前評価コメント】 継続的普及と市民と消防の連携										

【計画事業】

【実施計画番号】 74 【計画事業名】 救急車到着前の救命処置を的確に実施するためバイスタンダーの育成及び民間事業所へのAED設置促進を図る
 【節項コード】 404 【節名】 安全で快適な生活環境の実現
 【項名】 安全で安心な地域環境づくり

	H20	H21	H22
計画	応急救護普及として、普通・上級救命講習、その他の救命指導を実施	応急救護普及として、普通・上級救命講習、その他の救命指導を実施	応急救護普及として、普通・上級救命講習、その他の救命指導を実施
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	12 救急救命が必要になった市民の生命をつなぐ	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	2 市民が安心できる救急体制を確立する	【項】	安全で安心な地域環境づくり
【基本事務事業】	1203 救急活動を行う	【基本計画区分】	404 【担当課】 6001000 消防局企画管理室

【方針(目的)】	【外部環境の変化】	【取組み課題(現状と課題)】	コード	配下事務事業名
迅速的確な救急活動体制を確立し、市民が安心して暮らせる高度化された救急体制をつくる	救急出場の適正なあり方が求められている	救急車の適正利用を推進すると共に、民間救急搬送事業を促進します	120301	高度救急関係事業
			120302	救急車両整備事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]	【内部要因(強み・弱み)】	【目指す成果(今後の方針)】
覚知から現場出発までの時間 (分)	23	24	24	救急需要の増加に伴い、全隊が同時出場するする場合があります	本当に必要な人のために、救急業務の適正な運用が図られるようになります
()	0	0	0		
()					

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 120301 高度救急関係事業		担当課: 6002500 消防救急課									
【目的】		会計区分 一般会計					計画区分 計画事業				
高度化した救急処置や応急処置を全ての傷病者へ提供する救急隊員を養成する。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
	救急救命士の充足率 (%)	実働救急救命士 ÷ (1署4名 × 高規格救急車台数) × 100	100	100	100	100	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	9,208	11,533	11,736	11,939
	()		0	0	0	0	職員数 (単位: 人)	13.88	13.88	13.88	13.88
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】 救急活動向上業務 医療機関連携業務 消防隊の救急活動業務 救急救命士養成業務 救急隊運用業務 救急需要対策業務				
市に関わる全ての人	()										
【事前評価コメント】 救急救命士の養成認定救急救命士の養成再教育(病院実習)の確立											

【計画事業】

【実施計画番号】 75 【計画事業名】 救急車の適正利用を推進するとともに、民間救急搬送事業を促進します
 【節項コード】 404 【節名】 安全で快適な生活環境の実現
 【項名】 安全で安心な地域環境づくり

	H20	H21	H22
計画	1 救急救命士の養成2 メディカルコントロール体制の確立3 救急隊員の病院研修・講習4 備品等の整備5 医療機関との連携	1 救急救命士の養成2 メディカルコントロール体制の確立3 救急隊員の病院研修・講習4 備品等の整備5 医療機関との連携	1 救急救命士の養成2 メディカルコントロール体制の確立3 救急隊員の病院研修・講習4 備品等の整備5 医療機関との連携
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 120302 救急車両整備事業

担当課: 6001000 消防局企画管理室

【目的】 会計区分 一般会計 計画区分 一般事業

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	一般会計			一般事業				
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
市民の救命率向上のため、救命士が使用する資機材、車両を整備し、常に良好な状態で市民サービスが受けられるよう救急車両を整備する。	車両購入額のコスト縮減 (%)	達成台数/総台数	100	100	100	100	計画額	61,800	0	29,900	0
	()		0	0	0	0	(一般財源) (単位:千円)	4,997	0	1,797	0
【対象】 救急隊員及び地域住民	()		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	59	59	59	59
	()		0	0	0	0	【関連する業務名称】 救急車両整備計画を策定する 救急車両・装備の高規格化を図る 車両を導入(更新)する				

【事前評価コメント】
車両の平準化により経費の縮減が図られた。